

Q6：図書委員会の活動を活発に行うためには、  
どのようにしたらよいですか？

A：図書委員会には、日常的な活動と企画・運営する活動があります。図書委員が中心となって、どんなことができるのかを考え、実行していくことが図書委員会を活発にしていけることにつながります。

小学校では、図書委員会の児童が、使いやすい図書館にしよう、みんなが行きたくなる図書館作りをしようと、創意工夫をして、企画・運営をすることが大切です。

中学校では、図書委員会は生徒会の各種委員会の一つであり、図書委員は図書館と学級をつなぐ大切なパイプ役であることを意識させることが大切です。

図書委員会の活動の内容については、詳細をご覧ください。

小学校詳細

中学校詳細

Q6：図書委員会の活動を活発に行うためには、どのようにしたらよいですか？  
(小学校)

図書委員会では、日常的な活動を当番活動として行います。企画・運営する活動を、創意・工夫することで、図書委員会が活発になっていくことにつながっていきます。

## 1 図書委員会の仕事

- 日常的な活動・・・ライブラリーカレンダーの点検・本の貸し出しや返却の仕事・本の整理整頓・図書日誌の記入等
- 企画・運営する活動・・・本の紹介のポスター作り・読み聞かせ・読書クイズ・資料作り・図書館まつり等

## 2 図書委員会が企画・運営して行う活動

### (1) 本の紹介のポスター作り

図書委員会が図書室で読んだ本の中から、「おもしろかったよ」「みんなにお薦めだよ」という本を選んで、絵や文章で表現します。おもしろかった場面や感動したところなどを書いて、図書室の掲示板にはります。図書室に来て、本を選んでいる児童が参考にしたたり、本を手にとりて見たりします。学年に合わせた本を紹介していき、低学年の児童が読む本の紹介は、絵や吹き出しを使ってかくように工夫します。

せ

図書委員による低学年への読み聞かせを行うことにより、低学年の児童に本の紹介をすることができます。また、図書委員も本の紹介をするためにいろいろな本を読むことができます。

まず、委員会の時間に、読む本を決め、図書委員の中で同じ絵本が重ならないようにします。本が決まったら、読む練習を何回もします。図書委員同士で互いに聞き合い、分かりやすいか、声の大きさや読み方は

よかったかについてアドバイスをし合いま

す。この練習が本番にとっても役立ちます。月一回、放課の時間を利用しますので、あらかじめ低学年の担任に日時を伝えておくと、たくさんの児童が聞きにきてくれます。

読み聞かせが終わった後、低学年の児童から「楽しかった。また、読んでね。」と催促されることも多く、図書委員に充実感を味わわせることもできます。



《読み聞かせ》

☆ 読書クイズ ☆

### (3) 図書館だよりの読書クイズ

図書室にある本の中から、テーマを選び、図書館だよりに設けた読書クイズのコーナーに、図書委員が考えたクイズを載せます。

テーマは図書委員会で考え、発行月の季節や行事に合わせたテーマにします。例えば、2月ならテーマを「雪」にします。雪について説明がしてある図鑑を読んだり、雪のことを書いた物語を探したりして問題を考えます。

答えは図書室に掲示し、全校に知らせることができるようになります。問題は委員会の時間に作ります。どの学年も答えられる問題を作り、調べた本は図書室に展示します。図書委員は自分たちが作った問題なので、答えを確認に来た人にしっかり説明することができます。

名古屋でも雪がふりました。今回は雪についてのクイズです。


**Q おなじみくつ答えられるかな？**

① 『そりあそび』のお話で、はまばあちゃんが考えたそりは何からできているでしょう。

② 『ゆきだるまのマール』で一番大きいのは、だれでしょう。  
1.おとうさん 2.おねえさんのエキ 3.すえっこのマール

③ 雪の降る寒冷地で、冬の間消えることなく地面をおおっている雪のことを根雪といいます。○でしょうか。×でしょうか。

(図書委員会より)



《読書クイズ》

### (4) 資料作り

図書室に置く資料を児童の手により作成します。

例えば、学習に役立つ新聞記事をファイルシートにはって、件名ごとにファイリングします。また、全校に呼び掛けてパンフレットも集め、それを都道府県ごとに分けて、ファイルボックスに入れておきます。一度作ったら、そのままにしておかないで新しい資料に取り替えることも図書委員会の仕事です。新聞を扱うことで、今の情報となっている新しい資料を集めることができます。

### (5) 図書館まつりの企画・運営

各学校では読書週間の時期に合わせて、図書館まつりを行います。図書館にある本を使って、全校で楽しめる内容を図書委員会で話し合います。たくさんの人が図書館に来て、本に親しむことができるように企画・運営をします。準備したり、全校に呼び掛けたりして、楽しいまつりができるように、図書委員が活躍します。

図書委員として、多くの本に出あうことができます。図書館にもたくさんの人が来てくれることでしょう。

※ 図書館まつりについては、詳しく述べられたページがありますので、そちらをご覧ください。

Q6：図書委員会の活動を活発に行うためには、どのようにしたらよいですか？

図書委員会は生徒会の各種委員会の一つであり、図書委員は図書館と学級をつなぐ大切なパイプ役であることを意識させます。図書委員の仕事を周囲に理解してもらってはじめて、図書館と学級とのパイプ役が務まると思われれます。その上で、図書館利用の呼びかけや図書の紹介をすると、活発な活動が見えてくるでしょう。

---

#### 1 図書委員の仕事

- 日常的な活動・・・図書の貸出と返却、館内の整理、資料の整理、調査・統計、学級文庫の管理、委員会の連絡
- 企画・運営する活動・・・図書館便りの発行、全校一斉読書、しおりコンクール、読書会、図書購入への参加、ビデオ上映、他校との交流

図書委員は日常的に図書館の開館に伴う仕事があります。図書委員会の活動を活発にするということは、図書委員が意欲的に積極的に委員会活動を行うということです。それには、図書委員が主体的に企画し、運営していくことのできる行事や仕事のあることが大切です。言い換えると、図書館が生徒たちにより利用され、委員会活動が活発に行われるということにつながります。

## 2 図書委員会が企画・運営して行う活動

### (1) 図書館だよりの発行

図書委員が作成する図書館だよりは、主として図書館で読んだ本、あるいは新しく図書室に入った本についての紹介文を掲載することです。また、先生方に「お薦めの本」や「先生が中学時代に読んだ本」などについてインタビューしたり、原稿依頼をしたりして図書館だよりに載せたりします。

図書委員の手作りの図書館だよりは、生徒たちにより身近な存在となって親しみのあるものとなり、図書室の利用につながっていきます。



《図書館だよりの作成の様子》

### (2) 全校一斉読書

学校行事である全校一斉読書ですが、図書委員会が中心に取り組むことによって、各クラスを本を読む雰囲気にすることができます。また、上記に述べたように、先生方の「お薦めの本」を書いてもらうことも大切な一つです。

### (3) しおりコンクール

読書ゆうびんコンテストを経験した生徒たちは、読書の啓発活動として読書ゆうびんよりも手軽に取り組めるという点でしおりコンクールを企画し、進めています。図書委員会から呼びかけ、作品を募集します。しおりには、お薦めの言葉とその作品を表す絵をかきます。絵ははり絵でもかまいません。



《しおりコンクール優秀作品》

### (4) 読書会

学校で話題になっている本、社会で話題になった本などの中から図書委員会で話し合い、読書会の書名を決めます。書名が決まったら、図書委員がポスターをかき、参加を呼びかけます。

### (5) 図書購入への参加

図書購入のとき、図書委員と一緒に書店へ行き、実際に図書を目の前にして自分たちで選んで購入します。

### (6) ビデオ上映

国語科の学習に関連するものを中心に、授業後の時間を利用してビデオの上映をします。図書委

員の呼びかけで図書館の利用にもつながっていきます。

#### (7) 他校との交流

他校の図書館を見て、他校の図書委員と交流する中で、自分たちの図書委員会の活動や図書館環境を見直すことができ、より活発な委員会活動が期待できます。また、公共図書館を訪問して、図書の貸し出しや整理などの体験活動をさせてもらうこともいいでしょう。

### 3 その他

図書委員会が常時活発に活動していくためには、委員会活動がいつでもできる場所があることが必要です。図書室に近い所で、図書委員が話し合い、作業のできる場所の確保ができれば、新着図書の受け入れ、本の紹介、本の修理などをはじめ、図書館だよりの作成などの広報活動も盛んになり、図書委員会全体が活発になってきます。